



## 貧乏サラリーマンの特徴！！



「金持ち父さん貧乏父さん」という本が2000年に出版されてベストセラーになったが、読まれた方もいらっしゃることでしょ。お金にまつわる一つの経済学を紐解いているのであるが、これらの教えはサラリーマンの人たちにも当てはまる。表現を変えれば「金持ちサラリーマン貧乏サラリーマン」ということになるのであろうが、今日はその中でも貧乏サラリーマンに焦点を当ててみたいと思う。もちろんサラリーマンの中にも優秀な人もいる。しかし、駄目サラリーマンは一生貧乏のままで終わる。さて、あなたはどちらのタイプに入るでしょうか？  
貧乏サラリーマンの特徴には次のようなことが挙げられる。

### 1. 会社に行きさえすれば給料がもらえると考えている人。

これは会社から餌をもらい養ってもらっている「家畜」のようなサラリーマンである。

給料というのは、「あなたのスキル+労働力」に対する対価である。スキルも労働力もアップしていないのに給料だけが増えていく訳が無い。

### 2. 言われたことしかやらない人、できない人。

言われたことをやるのは必要最低限のことである。中には言われたことすらもできない人もいる。会社はあなたに言われたこと+アルファのことを求めている。

会社の求めていることを満足させられないサラリーマンの行く末に待つのは「貧乏」の人生だ。あなたにとって、会社はスキルと労働力を買ってくれるお客様でもある。お客様である会社を満足させられないと見離されて当然であろう。

### 3. 年功序列に安住している人。

長く勤めていたらいずれ出世できると考えているようなサラリーマンはすでに終わっている。今の時代、そんな競争心の無い人間は会社にとっても無用の長物である。

### 4. 定年退職金や年金をアテにしているような人。

未来のことは誰にも分からない。あなたの会社が定年まであるかどうか分からない。定年退職するまであなたがそこに残り続けられるかどうか分からない。

年金だって同じことである。そんな不確かなものを頼りに日々を過ごしている人は生き様がどうしても甘くなっていく。

### 5. 会社に依存している人。

どんな時にも会社が何とかしてくれるであろうと考えている人は、今すぐにでもその考え方を変えた方が良い。

あなたがベストを尽くしていないのに誰もあなたを助けたりはしない。もちろん会社も同じである。

あなたが会社を変えていく気持ちを持たないと、あなたの会社も変わらない。

あなたがなるべきは給料をもらうサラリーマンではなく、ビジネスを行うビジネスマンである。それを会社も求めている。